【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【公開番号】特開2020-36846(P2020-36846A)
【公開日】令和2年3月12日(2020.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2020-010
【出願番号】特願2018-166606(P2018-166606)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和3年9月3日(2021.9.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技球の進入が当否判定の契機となる始動領域と、
低ベース状態および当該低ベース状態よりも前記始動領域に遊技球が進入しやすい状態である高ベース状態を設定することが可能な遊技状態設定手段と、
前記始動領域に遊技球が進入することを契機として取得される情報であって当否判定に用いられる当否判定情報を、所定数を限度として記憶する記憶手段と、
前記低ベース状態では実行されるものの、前記高ベース状態では実行されない報知であって、前記記憶手段に前記所定数の当否判定情報が記憶された限度状態にあることを遊技者に対して報知する特定報知を実行することが可能な報知手段と、
を備えることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記特定報知は、スピーカから所定の報知音が出力されるものであることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記低ベース状態にて前記限度状態となっても前記特定報知が実行されないようにする非実行モードを遊技者が任意に設定可能であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の遊技機。